



◇ 薬剤師の今西正人先生をお招きし、第7回さくら塾を開きました。

日 時： 平成29年10月13日(金) 16:00~17:40
講 師： 今西正人先生(みどり病院 薬剤師)
参加者： 希望者20名
テーマ： 「薬学・薬剤師入門」「効果的なプレゼンテーションの方法」

医師・看護師・薬剤師の一日体験でお世話になっているみどり病院の今西正人先生より、「薬学(大学院での研究内容)・薬剤師入門講座」、そして「効果的なプレゼンテーションの方法」についてのお話をうかがいました。質疑応答も盛り上がり、予定時間を20分超えての終了でした。

この講演は、薬剤師体験に参加した中島未夢さん(2年4組)の提案で実現しました。関高校のさくら塾は、校外の方々を講師としてお招きする社会連携セミナーです。今後も、生徒のみなさんの意見を取り入れていきたいと思ひます。



◇ 参加した生徒の感想

■今日の講義を受けて、薬剤師の貴重なお話を聞くことが出来ました。薬剤師は海外ではとても尊敬され、医師と同じくらいの扱いをされていることを聞いた時はとても驚きました。特に、自分の親が薬剤師であるため実感があり、より話を身近に感じました。

何事も何度も練習することが大切だとわかったので、これからプレゼンだけでなく、いろんな事で何度も何度も練習したいと思います。また、薬剤師についての話だけでなく、これからSGHなどで活用できるプレゼンのやり方も知ることができて、今回の講義に参加してよかったと思ひました。

■僕は、医薬品の研究をすることが将来の夢で、今回、実際に薬剤師をされている今西先生からいろいろなお話を伺うことができると思ひ、さくら塾に参加しました。今回お話を聞いている中で、薬剤師はただ処方箋に沿って調剤をするだけでなく、その医薬品が患者さんにあっているのかを判断する重要な役目も担っているのだとわかりました。

また、世界では、薬剤師になること自体がとても難しく、重要視されており、日本でも近い将来そのようになるのではと考えました。しかし、今の日本の薬剤師は、海外ほど権限が与えられ

ていないため、そんな薬剤師を支える、すなわち、使用する医薬品の選択肢を支えることができる様な研究者になりたいと再度強く意思を固めることができました。今回はとても貴重な経験をすることができました。参加させていただきありがとうございました。

■本日の講話では、普段の学校生活では耳にできない、貴重な話を聞くことが出来ました。

自分自身、薬学部を目指すにあたって、完璧に薬剤師の仕事が分かっているわけではなかったのですが、こういった機会に実際の薬剤師の方のお話を聞くことができたことは、非常にありがたい体験です。

ただ単に処方箋から調剤をして患者さんに薬を出す、というだけでなく、病院と連携して、よりよい薬が提供できるようにされていることについては、とても懂れます。

また、薬剤師としてだけではなく、研究者として、科学者としてのあり方や、プレゼンの方法など、たくさんのお話が聞けたので、とてもためになりました。

■この講演は自分にとって意味のある素晴らしいものだったと感じました。

私は夏の薬剤師体験で始めて今西先生とお会いしたのですが、その時私は、研究者か薬剤師になりたいとだけ思っていました。しかし、先生の「研究者は薬剤師でなくてもいいが、薬剤師は研究者でなくてはならない」という言葉を聞き、薬学部を目指そうと思ったのです。今回の講演にもこの言葉が出てきました。これを実現するために、意志を持って勉強を頑張りたいと思いました。

また、プレゼンの極意を教えていただけたのもよかったです。私は自然科学部に所属しており、秋には県内の研究発表会を控えています。先生のノートをまじまじと見ていた1年生部員の様子から、それから刺激をもらっていたことは一目瞭然でした。この講演の内容も参考にさせていただく予定です。

今西先生に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

■今西さんのプレゼンを聞いて薬剤師について詳しく知ることができました。今までは薬を処方していることぐらいしか知りませんでしたが研究もしていると分かりました。

また、プレゼンの仕方がとてもうまくてわかりやすく驚きました。練習のやポスターのレイアウトの大切さを学ぶことができました。これからは要点をまとめて分かりやすいプレゼンができるようにしたいです。



講演終了後の質疑応答の様子